

六 佐竹義重書状（「秋田藩家蔵文書」二〇）

佐竹義重、赤坂宮内太輔夫に、千本・中妻筋・興野を攻め、昨十一日には烏山宿・根小屋を打ち散らす戦果をあげたことを報じる。

〔前二回〕

当口在陣懇切之赴、快然之至候、千本へ押詰及行候、中妻筋へ相動如存候、其上号興野与地へ罷越、悉取詰候、昨十一烏山宿・根小屋無残打散候、爰元落居不可有程候、事々期後音候、恐々謹言、

（永禄十年力）
八月十二日

（佐竹）
義重（花押影）

赤坂宮内太輔殿

【読み下し文】

当口在陣懇切の赴、快然の至りに候。千本へ押し詰める行に及び候き。
中妻筋へ相動き存ずる如くに候き。其上興野と号する地へ罷り越し、
昨十一烏山宿・根小屋残りなく打ち散らし候き。爰元落居程有るべから
ず候。事々後音を期し候。恐々謹言。

【補注】

本文書は赤坂光康所蔵文書である。